



## 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月13日

上場会社名 菊水化学工業株式会社  
 コード番号 7953 URL <http://www.kikusui-chem.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 均  
 問合せ先責任者 (役職名) 理事 管理本部長 (氏名) 稲葉 信彦  
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東名

TEL 052-300-2222  
 平成27年12月7日

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	10,557	7.6	372	△13.9	392	△14.6	236	—
27年3月期第2四半期	9,810	0.4	432	12.1	459	10.4	△0	—

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 227百万円 (187.3%) 27年3月期第2四半期 79百万円 (△67.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	18.97	—
27年3月期第2四半期	△0.07	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	16,608	9,575	57.7
27年3月期	16,809	9,473	56.4

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 9,575百万円 27年3月期 9,473百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	5.00	—	11.00	16.00
28年3月期	—	7.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	9.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,506	7.3	943	3.3	954	3.2	496	89.7	40.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
 新規 1社 (社名) 菊水香港有限公司、除外 1社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期2Q	12,744,054 株	27年3月期	12,744,054 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

28年3月期2Q	234,893 株	27年3月期	269,793 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	12,493,432 株	27年3月期2Q	10,381,088 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績の改善や、消費税率引き上げによる個人消費の反動減からの持ち直しが見られるなど、景気の緩やかな回復基調が続いております。しかし、個人消費の持ち直しについては勢いが見られず、また、海外景気動向が不透明になりつつあり、今後の景気の先行きに関して与える影響は不透明であります。

このような状況の中、当社グループは、従来の経営方針である〈安全第一・品質第一・環境第一・顧客第一〉「下地から仕上げまで～技術力の創造～」、「総合塗料メーカーをめざす」方針を掲げ、良い伝統を築いていく所存です。当第2四半期連結累計期間においては「K's(キーズ)」を冠した製品や「ロイヤルセレクション」と題し耐候性に優れた塗料をパッケージ化し、市場での普及促進に努めました。また、物流の見直し、全社を挙げてのコストダウンに努めるとともに、新製品の開発及び販売、新規顧客の獲得に向けて積極的な営業活動を展開し、工事においては、品質、安全管理の強化による販売体制を整え、シェア拡大に努めました。また、リフォーム市場の復調という環境下に加え、前期においてリフォーム用の高付加価値新製品である「デラフロン」シリーズを市場に投入したところ、顧客の皆様よりご指名頂き、戸建住宅の改修工事の売上を伸ばすことができました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における連結業績は、売上高105億57百万円と前年同四半期と比べて7億47百万円の増収を計上することができました。

また、利益につきましては、営業利益は3億72百万円と前年同四半期と比べて60百万円の減益、経常利益は3億92百万円と前年同四半期と比べて67百万円の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億36百万円と前年同四半期と比べて2億37百万円増益となりました。

なお、当社グループは、製品販売・工事の単一セグメントのため、セグメント別の記載は省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産の残高は166億8百万円(前連結会計年度末比2億1百万円減)となりました。

これは主として現金及び預金が6億61百万円、未収入金が2億31百万円減少し、土地が2億55百万円増加し、投資有価証券が2億10百万円増加し、長期預金が2億10百万円増加したことによるものであります。

#### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は70億32百万円(前連結会計年度末比3億3百万円減)となりました。

これは主として未払費用が1億64百万円減少し、未払消費税等が88百万円減少し、社債が34百万円減少し、長期借入金が33百万円減少したことによるものであります。

#### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は95億75百万円(前連結会計年度末比1億2百万円増)となりました。

これは主として利益剰余金が94百万円増加したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期通期の連結業績予想につきましては、平成27年5月14日に発表いたしました業績予想と変更はありません。

尚、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手できる情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

平成27年4月15日に 菊水香港有限公司を新たに設立いたしましたので、第1四半期連結累計期間より同社を連結の範囲に含めております。

なお、同社は特定子会社に該当します。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

項目	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
税金費用の計算	当連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更等)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)  
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、  
第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載し、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載する方法に変更しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,251,307	4,590,135
受取手形及び売掛金	5,350,147	5,278,760
商品及び製品	785,766	870,549
仕掛品	199,501	245,913
原材料及び貯蔵品	346,508	330,316
繰延税金資産	129,846	129,846
その他	843,101	536,001
貸倒引当金	△5,006	△4,802
流動資産合計	12,901,172	11,976,722
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	540,296	540,456
機械装置及び運搬具(純額)	131,427	145,941
土地	843,590	1,098,943
リース資産(純額)	78,125	53,821
その他(純額)	56,628	69,599
有形固定資産合計	1,650,067	1,908,762
無形固定資産		
のれん	313	208
その他	62,558	77,358
無形固定資産合計	62,871	77,567
投資その他の資産		
投資有価証券	1,698,368	1,909,021
繰延税金資産	38,225	69,226
長期預金	300,000	510,000
その他	168,429	158,078
貸倒引当金	△9,671	△1,030
投資その他の資産合計	2,195,352	2,645,295
固定資産合計	3,908,291	4,631,625
資産合計	16,809,463	16,608,347

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,622,042	3,632,688
短期借入金	1,271,412	1,271,977
1年内償還予定の社債	68,800	68,800
1年内返済予定の長期借入金	80,848	56,848
未払法人税等	14,988	154,035
完成工事補償引当金	53,702	34,274
その他	1,064,063	738,700
流動負債合計	6,175,857	5,957,324
固定負債		
社債	76,000	41,600
長期借入金	322,062	288,138
役員退職慰労引当金	132,766	127,920
完成工事補償引当金	35,877	14,988
退職給付に係る負債	489,454	492,232
その他	104,073	110,185
固定負債合計	1,160,233	1,075,064
負債合計	7,336,091	7,032,389
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,972,735	1,972,735
資本剰余金	1,670,795	1,670,795
利益剰余金	5,595,300	5,690,226
自己株式	△135,598	△118,411
株主資本合計	9,103,232	9,215,346
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	373,895	332,425
退職給付に係る調整累計額	△19,012	△14,245
為替換算調整勘定	15,256	42,431
その他の包括利益累計額合計	370,138	360,612
純資産合計	9,473,371	9,575,958
負債純資産合計	16,809,463	16,608,347

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	9,810,026	10,557,103
売上原価	7,141,900	7,804,012
売上総利益	2,668,125	2,753,090
販売費及び一般管理費	2,235,340	2,380,352
営業利益	432,785	372,738
営業外収益		
受取利息	17,792	2,911
受取配当金	12,864	27,668
仕入割引	961	580
受取ロイヤリティー	5,625	-
その他	6,542	12,746
営業外収益合計	43,786	43,907
営業外費用		
支払利息	9,428	8,653
売上割引	6,247	5,854
その他	1,649	10,132
営業外費用合計	17,325	24,640
経常利益	459,246	392,006
特別利益		
投資有価証券売却益	2,786	-
特別利益合計	2,786	-
特別損失		
固定資産除却損	18,604	8,416
投資有価証券売却損	-	2,095
事業譲渡損失引当金繰入額	420,270	-
特別損失合計	438,875	10,512
税金等調整前四半期純利益	23,158	381,493
法人税等	22,945	144,517
四半期純利益	212	236,976
非支配株主に帰属する四半期純利益	933	-
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△720	236,976



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	212	236,976
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	78,363	△41,469
退職給付に係る調整額	603	4,767
為替換算調整勘定	-	27,175
その他の包括利益合計	78,966	△9,526
四半期包括利益	79,179	227,449
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	78,082	227,449
非支配株主に係る四半期包括利益	1,096	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	23,158	381,493
減価償却費	90,616	95,045
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	3,966	2,777
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	10,570	△4,846
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2,466	△8,845
完成工事補償引当金の増減額 (△は減少)	△8,313	△40,317
事業譲渡損失引当金の増減額 (△は減少)	420,270	-
受取利息及び受取配当金	△30,656	△30,580
支払利息	9,428	8,653
投資有価証券売却損益 (△は益)	△2,786	2,095
固定資産除売却損益 (△は益)	18,604	8,416
売上債権の増減額 (△は増加)	687,942	78,781
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△111,853	△115,003
仕入債務の増減額 (△は減少)	△303,450	10,646
未払費用の増減額 (△は減少)	△372,261	△137,571
その他	△93,577	△172,365
小計	339,191	78,378
利息及び配当金の受取額	32,366	29,959
利息の支払額	△9,459	△9,000
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△258,561	59,346
営業活動によるキャッシュ・フロー	103,537	158,683
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△6,624	△216,109
有形固定資産の取得による支出	△56,588	△423,131
無形固定資産の取得による支出	△15,715	△5,447
投資有価証券の取得による支出	△397,618	△590,292
投資有価証券の売却による収入	742,247	600,000
関係会社出資金の払込による支出	△59,789	-
その他	49,099	4,922
投資活動によるキャッシュ・フロー	255,009	△630,058
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△100,000	564
長期借入れによる収入	-	30,000
長期借入金の返済による支出	△41,636	△87,924
社債の償還による支出	△34,400	△34,400
自己株式の取得による支出	△448	-
自己株式の処分による収入	26,411	18,178
リース債務の返済による支出	△11,044	△7,981
配当金の支払額	△94,186	△136,920
財務活動によるキャッシュ・フロー	△255,304	△218,484
現金及び現金同等物に係る換算差額	841	22,577
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	104,084	△667,281
現金及び現金同等物の期首残高	3,451,744	4,928,536
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,555,828	4,261,255

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	製品販売・工事	セラミック	計	
売上高				
外部顧客への売上高	9,465,287	344,739	9,810,026	9,810,026
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	9,465,287	344,739	9,810,026	9,810,026
セグメント利益	392,247	40,537	432,785	432,785

(注) 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益の金額は一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度までの当社グループは、「製品販売・工事」、「セラミック」の二つを報告セグメントとしておりましたが、第1四半期連結会計期間より「製品販売・工事」の単一セグメントに変更しております。

この変更は、前連結会計年度においてセラミック事業を事業譲渡したことに伴い、事業セグメントの区分方法を見直したことによるものであります。